

# 4 . 物流部門の取組み

## ～ 高効率・環境負荷低減システムの構築 ～

### (1) 共同配送の推進について

共同配送推進による車輛台数低減。

二温室二温度帯管理車輛の導入。

車載端末による車輛運行管理により燃費改善。

### (2) アイドリングストップ運動について

アイドリングストップの推進。

アイドリングストップ機能付き車輛の導入。

### (3) 低公害車の積極的導入について

ハイブリッド、CNG配送車の導入拡大。

### (4) その他

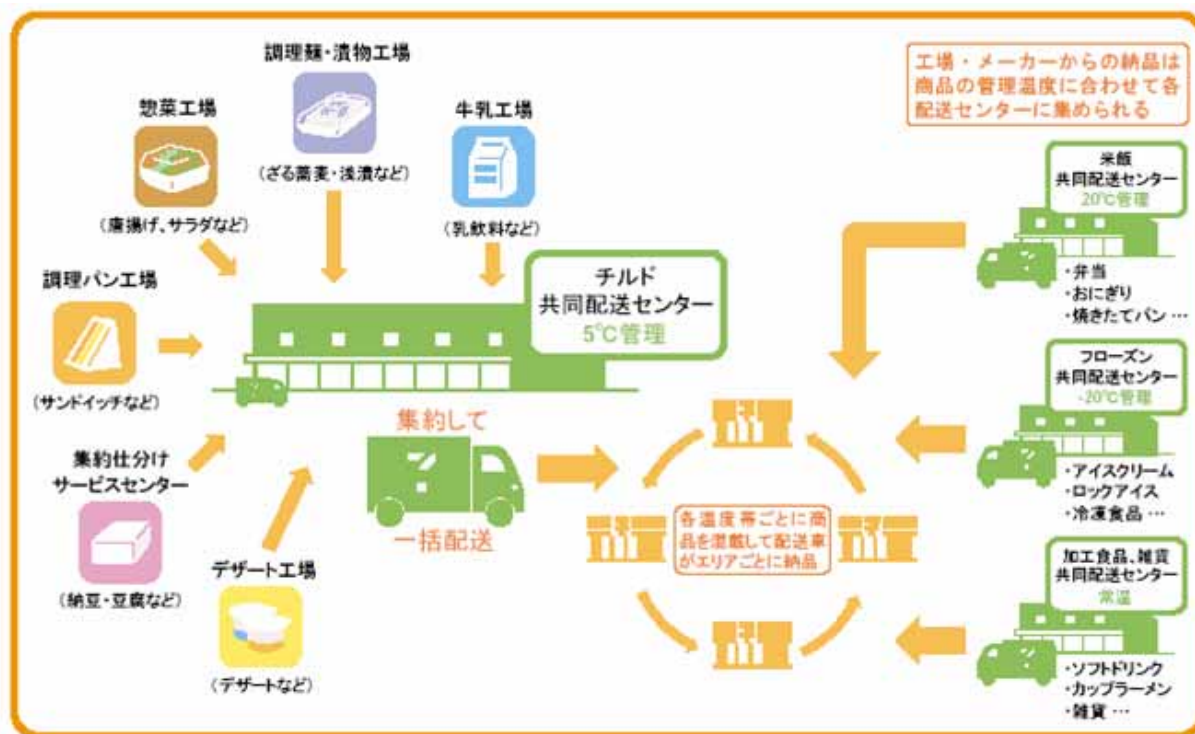
エコドライブ教育の実施

## 共同配送と環境負荷削減の取組み(例:セブン-イレブンの取組み)

当初メーカー毎に配送していた商品を温度帯毎に共同配送センターへ集め、専用配送車両で各店舗に納品。

CNG車の導入や配送ルートの見直しによる燃費の向上、アイドリングストップの徹底、納品時の騒音抑制など、地域環境への配慮を実施。

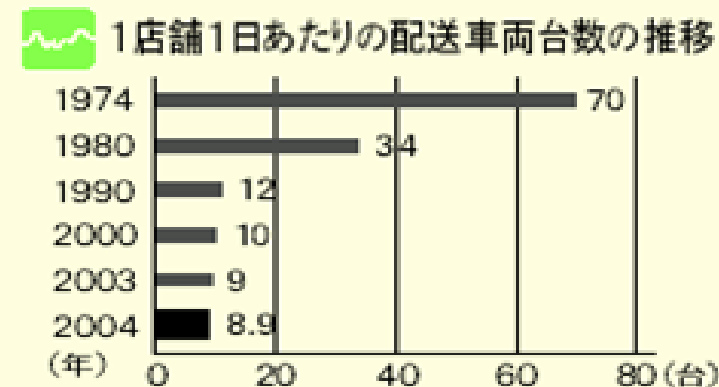
### 商品の共同配送化



1店舗1日当たりの配送車両台数の推移

創業時 70台/日

04年度 8.9台/日まで削減



# 5. 食品リサイクルの取組み

## 食品廃棄物リサイクルの取組み (例:ファミリーマートの取組み)

### (1) 生ゴミのリサイクル

#### 生ゴミ回収リサイクルシステム

1999年度より販売期限を過ぎて廃棄されるロス商品を回収し、肥料・飼料へとリサイクルする「生ゴミ回収リサイクルシステム」の導入拡大に取り組んでいる。(実施店:650店舗超)

#### 個店設置型生ゴミ処理機

2002年度より、直営店のバックヤードに生ゴミリサイクルの一次加工処理を行える個店設置型「電子レンジ式生ゴミ処理機」の導入を進めている。

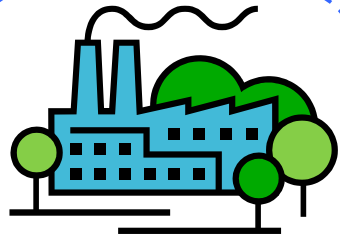
### (2) 廃食用油リサイクルの推進

1999年度よりフライドチキンやフライドポテト等のフライヤー商品を調理した後の廃食用油を回収して、飼料などにリサイクルする「廃食用油回収リサイクルシステム」の導入を開始し、実施店舗の拡大を進めている。(フライヤー取扱店:ほぼ全店舗で実施)

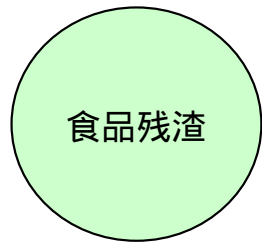
# 食品廃棄物のリサイクルの取組み (例:セブン-イレブンの取組み)

お弁当などを生産する専用工場と店舗からそれぞれ食品廃棄物が発生し、リサイクルの取組みを進めている  
チェーンメリットを活かし、効率的に法履行できる仕組みの開発とその仕組みへの加入を促進している

## 食品廃棄物の取組み



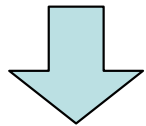
デイリー商品専用工場



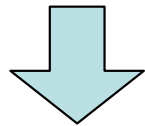
店舗



### 適正処理: 食品リサイクル



飼料化



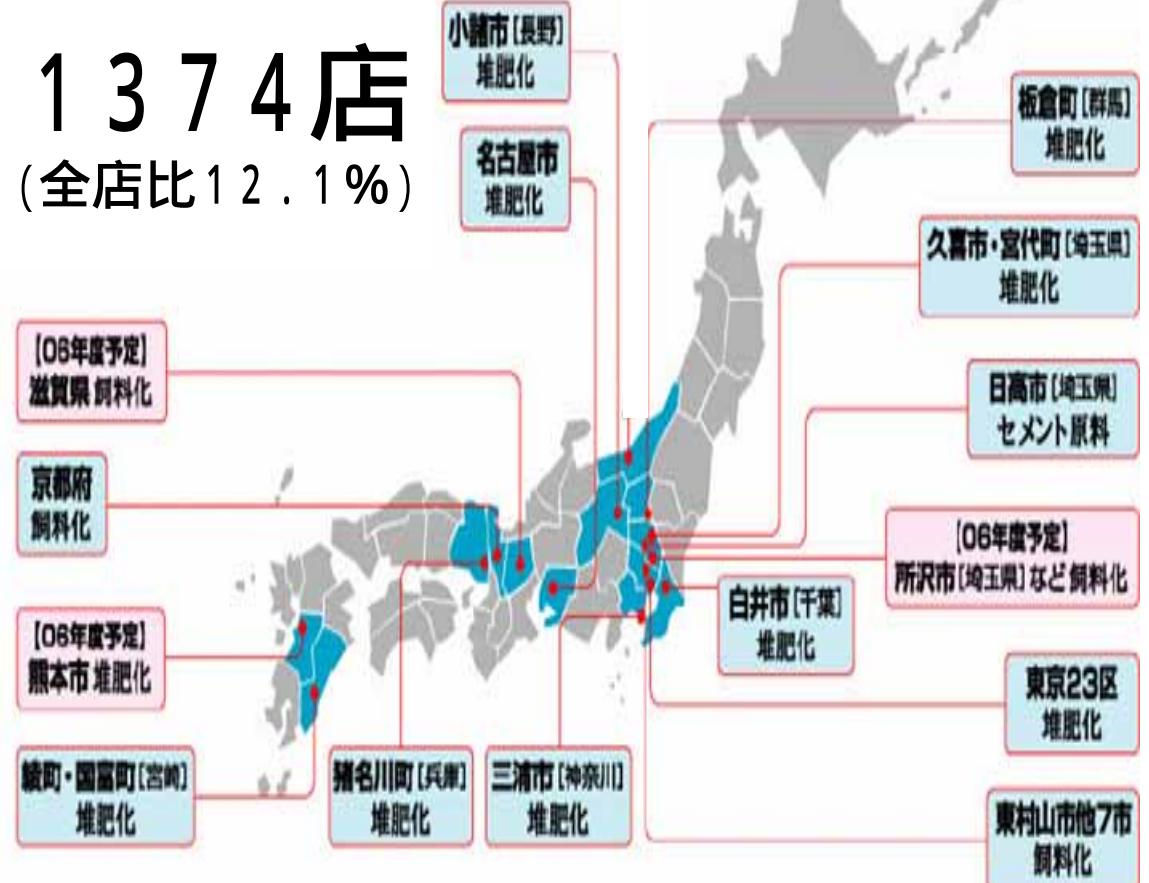
堆肥化

飼料化

## 食品リサイクルの実績と計画

06年2月末現在の  
実績

**1374店**  
(全店比12.1%)



発起人4社

**【排出事業者】**  
**食品製造業**  
九州NDF加盟工場  
(12社14工場)

**[副理事長]同上**  
**[監事]同上**

食品循環未利用資源の分別排出  
15,000円/トン(不適残渣は21,000円/トン) 契約

飼料化不適残渣

食品循環未利用資源

検討

**【利用事業者】**  
**畜産業**

**[理事長]**  
農事組合法人(養豚経営)

配合設備設置  
乾燥処理品の配合飼料化と利用  
(10,000円/トンで一次処理原料買い入れ)

**【回収処理事業者】**  
**産業廃棄物処理業**

**[専務理事]**

未利用資源の収集運搬  
乾燥処理機の設置  
一次処理

乾燥処理  
(真空乾燥機)

焼却処分  
(自社設備)

**【組合員】**

**食品製造業**  
(熊本県)

**【予定】**

九州NDF加盟工場  
(12社14工場)

**【賛助会員】**

**飼料製造業**

**その他小売業**  
(株)セブン-イレブン  
・ジャパン

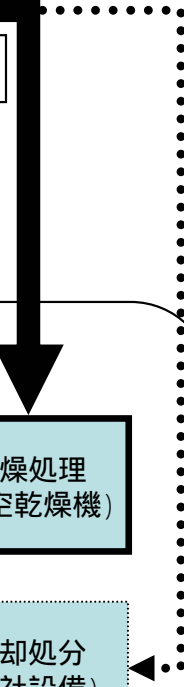
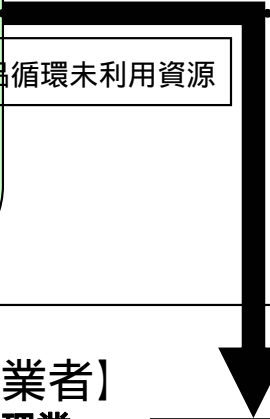
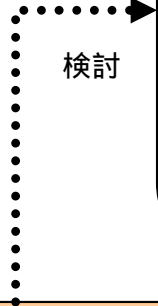
畜糞堆肥

**契約農場**

畜糞を利用した堆肥による有機栽培原料

**セブン-イレブン店舗**

「おでんの大根」



## 6. その他の取組み

(1) ペットボトル店頭回収拠点への協力(東京23区他)



(2) 環境省「ブラックイルミネーション2006」への参画

(11社 約3,100店舗)





### (3) 地域清掃活動への参画・協力



### (4) 各自治体イベントその他への参画・協力 等

以上